

## 審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和7年度 第1回甲州市環境審議会
開催日時	令和8年2月4日(水) 午後2時～午後3時15分
開催場所	甲州市役所 2階 第1会議室
議題	① 甲州市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づく 令和6年度実績報告 ② ゼロカーボンシティ推進事業補助金に関するアンケート ③ 職員研修アンケート結果 ④ ゼロカーボンシティ推進事業補助金について
出席委員	内田智之 会長、瀧澤康雄 副会長、 古屋俊明 委員、望月信 委員、萱原春美 委員 手塚喜久 委員、藤巻真史 委員
会議の公開又は 非公開の区分	公開
会議を一部公開 又は非公開と した場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る 事項	環境課 4名 (土屋課長、森リーダー、中村リーダー、山本)
その他	

令和7年度 第1回甲州市環境審議会 審議概要（開催日：令和8年2月4日）

<p>内容</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p>①甲州市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく令和6年度実績報告</p>	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p>事務局開会</p> <p>○内田智之 会長</p> <p>議長：内田会長</p> <p>○内田智之 会長 議題の説明については、事務局から一括して行い、議題ごとに質疑を行う</p> <p>○事務局（森リーダー）</p> <p>① 甲州市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく令和6年度実績報告（資料1）について</p> <p>② ゼロカーボンシティ推進事業補助金に関わるアンケート（資料2）</p> <p>③ 職員研修アンケート結果（資料3）</p> <p>④ ゼロカーボンシティ推進事業補助金について（資料4）</p> <p>議題を一括説明</p> <p>質疑</p> <p>○瀧澤委員 資料1の1ページ、燃料種別排出量の電気関係について、甲州市民文化会館をはじめとする太陽光発電設備の導入に伴う売電により、電気の排出量を減らしたものという理解でよいか。</p> <p>○事務局 この太陽光発電については、甲州市では売電を行っていない。PPA方式で事業者が市民文化会館に設置し、そこで発電された電力を市が買っているため、記載されている排出量はそれも含めた数値となる。</p> <p>○瀧澤委員 夜間電力は太陽光発電で補っているのか</p> <p>○事務局 夜間は太陽光による発電がされていないので、電力会社より電力を購入している</p> <p>○瀧澤委員 3ページの（1）で、約22,000kgのCO<sub>2</sub>排出量の削減を達成したと記載されているが、1ページの排出量には削減した</p>
---	--

数字が反映されているのか。

○事務局

削減したC o 2排出量も数字に反映されている。

○瀧澤委員

2ページのところの電気の使用量について、太陽光発電で発電  
押しで購入した分が、差し引かれている。

削減効果を考えるときに、電力の使用量をこれだけ下げること  
できたという、そうした数字が欲しい。

○事務局

令和7年3月から太陽光施設が稼働を始めたが、1年を通してみ  
ないと、前年度との比較が出来ない。

また、施設の利用状況により、電気使用量増減の判断は難しくな  
り、利用者が多い年で夏場に冷房を利用すると使用量は増加す  
る。

あくまでも1年間でどの程度の二酸化炭素が削減できたかを示  
すものとなり、来年度の審議会では一年間の結果が示せるもの  
と考えている。

○瀧澤委員

3ページのLED照明の導入について、既存設備を含めて政府  
全体のLED照明の導入割合を2030年度までに100%に  
するとなっているが、この目標は疑問に思う。

○事務局

目標は政府実行計画の措置と、その目標値を載せたもので、市で  
決めたものではないと認識いただきたい。

○瀧澤委員

政府実行計画では電気自動車の導入推進について、新規購入、更  
新は2022年度からと記載されているが、甲州市は実際に導  
入が進んでいるのか。

○事務局

市は現在2台の電気自動車を保有しているが、直近の導入台数  
は0台となっている。

導入が進まない理由として、山間地域であり、アップダウンが多  
く航続距離が短く長距離、長時間の移動が難しい点などがある。

<p>②ゼロカーボンシティ推進事業補助金に関わるアンケート</p>	<p>また、調達価格も高額なため、他自治体も含め導入が進んでいない。</p> <p>質疑 ○藤巻委員 ゼロカーボンシティ推進補助金のアンケートの生ごみ処理機について、ごみの減量などで一番効率的なのは、生ごみの水分を少なくすることにあるが、現実的に中々普及していない。 こうした状況の改善のために市民へ周知するには、使用方法について、アドバイスや簡単に堆肥化できるなどのメリットを教えるようにする必要がある。</p> <p>○事務局 実際に生ごみ処理機を家庭で使用しているが、昔ほど電気代が掛かることもなく、非常に使いやすい印象である。市民に対しても、良い部分を周知できるよう来年度は検討していきたい。</p> <p>○瀧澤委員 購入した方がどのように使用し、どう効果があったか、追跡アンケート調査ができると望ましい。</p> <p>○事務局 次年度以降に検討したい。</p>
<p>③職員研修アンケート結果</p>	<p>質疑 ○特に発言なし</p>
<p>④ゼロカーボンシティ推進事業補助金について</p>	<p>質疑 ○瀧澤委員 宅配ボックスについて、宅配業者がどれくらい効率的に業務できることにより、配達車両の燃料消費や、作業時間などが減少したなど、実情を宅配業者から伺うことは可能か。</p> <p>○事務局 某宅配業者に問い合わせたが、非公表とのことであった。 事業者として再配達率などの数字は持っているが、甲州市だけの数値ではないと伺っている。</p> <p>○瀧澤委員</p>

<p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>	<p>地区や組会議で、環境に対する取り組みの出前講座やってはどうかと過去に発言したが、今年度地域から要請があったか。</p> <p>○事務局 地域から出前講座への申し込みはなかった。 来年度も要望に応じて、夜間なども環境課の職員が出向いて対応したい。</p> <p>○古屋委員 市では、二重窓の設置など住宅等に関する環境配慮の補助金はあるのか。</p> <p>○事務局 二重窓は他課の所管になると思われるが、現状は環境課としての補助金はない。 環境課としては、住宅に設置される機器のCO<sub>2</sub>排出削減に有効なもの、太陽光発電システムなどに対して補助をしている。</p> <p>○瀧澤委員 他課にも環境に配慮した補助金があることが望ましい。 例えば、熱中症対策のエアコンで、環境配慮をした製品購入者への補助など、環境課だけではなく、健康の部分との連携など効果的と考える。 県の補助金の中に、二重窓などの補助金はあるが、設置基準を満たすものは値段が非常に高く、補助があると設置したい方の後押しとなるため、今後検討いただきたい。</p> <p>○事務局 令和9年度以降になるが、財政担当に相談する中で検討したい。</p> <p>○事務局 次第4その他に移る。</p> <p>○事務局（土屋課長） 令和8年3月31日を以て、環境審議会委員の任期2年が満了となる。委員の皆様には、日頃より環境保全活動の推進に対し、ご理解ご協力を賜り、御礼申し上げます。</p> <p>○瀧澤 副会長 閉会挨拶</p> <p>○事務局 以上で、令和7年度第1回甲州市環境審議会を終了する。</p>
----------------------------	---

